

指揮者 玉崎優人 先生のご紹介



【プロフィール】

玉崎優人 Tamasaki Masato

藤原歌劇団でオペラの仕事を始めた後、2022年イタリア・マルティーナフランカ Festival della Valle d'ltria にて研修。コレペティ・副指揮として研鑽を積む。その後アイルランド Ballet&Opera Irland にて副指揮者、2023年にはブエノスアイレスの※テアトロ・コロンにて音楽アシスタントを務めた。

※〈ブエノスアイレス コロン劇場〉



ミラノのスカラ座やパリのオペラ座と共に世界三大歌劇場の一つとされている。

嘗て名指揮者エーリヒ・クライバー（カルロス・クライバーの父）が10年間首席指揮者を務めたことがあり、トスカニーニもこの劇場で活躍していた。

○ 今回、塙先生のご紹介で6月の公演の指揮をお願いすることになりました。3/30の練習から「蝶々夫人」のレッスンをさせていただきました。玉崎先生は、海外の有名歌劇場でコレペティとして研鑽を積まれており、「蝶々夫人」は全曲を暗譜しているだけでなく、全ての役を歌えるそうです。この日もご自身でピアノを弾きながら、そして歌いながらご指導くださいました。イタリア語の正しい発音や言葉の意味、そのニュアンスをどう表現に結びつけたらよいか等、その事細かなご指導は、あっという間に私たちの心をつかんでしまいました。6月の公演が待ち遠しくなりました。

